

六八新聞

2020年9月2日
第14号

この新聞は2019年5月18、19日に下関で開催された、第68回日本医学検査学会に関係する情報発信を目的として、山口県臨床検査技師会が発行しているものです。

HP: <http://yamaringi.jp/>

皆さん、お久しぶりです。この度ご報告があり、一度限りの復刊となりました。第68回日本医学検査学会（以下、下関学会）から1年以上経っており、この新聞もオワコンなのはお分かっているのですが、読んで頂けたら嬉しいです。

学会開催後の活動報告

下関学会が縁で活動したことを報告します。
●慰労会…昨年7月6日、下関学会で実務委員などをしてくれた会員を慰労する目的で食事を開催。和気藹々とした会になりました。

●第57回大韓臨床病理士協会(KAMT)総合学術大会および国際カンファレンス（以下、KAMT学会）参加…昨年8月30日、31日に韓国の平昌で開催されたKAMT学会に参加しました。下関学会に韓国から100名近い参加者があり、日臨技の宮島会長が「山口から発表参加しないかね。」と洪田山臨技会長に呟いたのがきっかけです。山口県からポスター発表5名、引率2名の7名が参加。定期的にホワイト国除外、GSOMIA破棄か？などで急激に日韓関係が冷えはじめたところで、出発前は周囲から本気で心配されましたが、KAMTの方々は大変親切で杞憂に終わりました。英語での発表や日本各地から来た熱い方々との出会いなど貴重な経験もでき、韓国の文化に戸惑いながらも、非常に楽しく充実した韓国旅…じやなく学会参加となりました。



山口からの参加者。濃密な時間を共に過ごし、友達以上恋人未満の仲に

●山口臨技賀詞交換会での報告…国会議員や医師会関係者、賛助会員、名誉会員など、ゆかりのある方々が集まるこの会で下関学会の大成功とKAMT学会の参加を報告しました。

第69回日本医学検査学会

下関学会の次の第69回日本医学検査学会（以下、第69回学会）は開催2ヶ月前に新型コロナウイルスの影響で延期になり、その後、会場も変更。1年以上かけて準備し、その苦労がようやく実を結ぼうとしたときのこの決断は断腸の思いだったと思います。web参加をするなどして、是非みんなで応援しましょう。

感謝状をいただきました

今号で一番報告しなかったことです。下関学会を通して臨床検査の発展・向上に貢献したとして日臨技から感謝状を頂きました。第69回学会で表彰される予定でしたが、郵送に。それでも嬉しいもので、感謝状を持つお二人の顔から笑みがこぼれています。ご協力いただいた山臨技会員や中四国各県技師会、賛助会員などに改めて御礼申し上げます。



笑顔の学会長(右)と実行委員長(左)

今号のひらりと

今夏、子どもとの目標だった玉虫捕獲ならず。最も美しい昆虫とも言われる玉虫は35度以上の炎天下に榎木の上を飛翔する。宝物は人が行こうとしない、しかし意外と身近なところにあるのです。…お、名言っぽい迷言(笑)(安岡)